図書行政などにおいて連携強化を図る

▶栃木県下都賀地区市町教育委員会連合会行政視察

７月２日（木）、矢祭小学校と矢祭もったいない図書館で栃木県下都賀地区市町教育委員会連合会の行政視察が行われました。当日は子ども司書講座や図書館内の視察が実施され、参加者は先進的な読書推進活動に熱心に耳を傾け、教育行政の発展につながる有意義な情報交換の場となりました。

願いを込めた短冊が児童クラブ内を彩る

▶矢祭小放課後児童クラブ七夕のつどい

７月６日（月）、矢祭小学校放課後児童クラブ支援室において七夕のつどいが行われました。参加した児童は支援員から七夕の由来や伝説を聞き、七夕にちなんだ紙芝居を楽しみました。児童クラブ内には大きな七夕飾りが設置され、児童の願いが込められた短冊が色とりどりに飾られました。

貴重なコラム選を教材に

▶あぶくま抄１５０選納入式

７月７日（火）、矢祭もったいない図書館であぶくま抄１５０選の納入式が行われました。このコラム選は子ども司書講座の授業教材として活用される方針で、東日本大震災や原発事故への関心を深めるとともに、地域の歩みを多角的に学ぶ貴重な教材となることが期待されています。

思いやりの心を学ぶ

▶人権教室

７月８日（水）、矢祭中学校で人権教室が開催されました。当日は人権の大切さについて説明がなされた後、生徒たちが人権作文を読んで当事者の立場になって考え、自分たちの意見を発表しました。相手の気持ちに寄り添う重要性を実感しながら、思いやりの心を改めて学ぶ有意義な機会となりました。